

議会だより No. 134

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

令和6年度町内小中学校に

エアコン設置が決定!

物価高騰対策として

水道基本料金免除

令和6年1月～3月分まで

令和5年度第4回町議会定例会は、12月21日に招集され、会期を22日までの2日間と決定。

町長からは条例2件、予算4件、人事1件、議員からその他1件が提出された。

2氏が一般質問を行い、提出された議案を全て可決し、会期を1日残して閉会した。

一般会計	
補正額	1億930万4千円
総額	48億777万2千円
各特別会計	
国民健康保険特別会計補正予算	
補正額	2217万5千円
総額	4億8422万4千円
介護保険特別会計補正予算	
補正額	1096万9千円
総額	4億5029万9千円
簡易水道事業特別会計繰入金	
歳入	使用料及び手数料1120万円を減額し、繰入金として同額を増額計上

【令和5年第4回定例会】

12月21日

●国民健康保険条例の一部改正

●地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備

●人権擁護委員の推薦

鈴木 弘和氏（長島）

任期 R6年4月～R9年3月

【第5回議会臨時会】

11月24日

●特別職の給与に関する条例の一部改正

●職員の給与に関する条例の一部改正

質 村本議員
会計年度任用職員、再任用職員、議員報酬は、条例が改正されたときどうなるのか。

答 成川総務財政課長

議員報酬は特別職の期末手当の支給に準ずる。

会計年度任用職員は期末手当、月額報酬など通りしない。

令和6年4月からの改定を考えている。

●一般会計補正予算

追加 345万1千円

総額 46億6327万1千円

●国民健康保険特別会計補正予算

追加 41万9千円

総額 4億6204万9千円

●介護保険特別会計補正予算

追加 62万4千円

総額 4億3933万円

●下水道事業特別会計補正予算

追加 5万円

総額 3億6422万3千円

●風力発電事業特別会計補正予算

追加 2万5千円

総額 1億1069万8千円

【第6回議会臨時会】

12月7日

●一般会計補正予算

物価高騰対応低所得世帯支援臨時給付金

住民税非課税世帯約500件

追加 3519万7千円

総額 46億9846万8千円

一般質問

Q 「ふるさと苦前」地場産品振興プロジェクト事業の展開は A 地場産品の振興と新たな価値の創出を促進し持続可能なまちづくりの実現を目指す



質問 伊藤議員

「ふるさと苦前」地場産品振興プロジェクト事業委託料592万円の9月に可決され、11月18日に札幌のホテルにおいて、「ふるさと苦前で集まろう！」と題し交流イベントが開催された。

多くの町民が関心を持っている。この事業の内容と今後どのように展開し、どのようにまちづくり発展させていくのか。

①新聞報道には40名の参加となっていたが、議員・職員等関係者を除いた、参加者の地域年齢等の構成は。

②札幌方面の周知方法は。

③学生ボランティアを募集していたが、学生に苦前を認知してもらえなかった。その募集方法と実績は。

④今回のイベントに対する町の評価は。

⑤今後の展開予定は。
⑥何度かこの交流会を開催する予定であると聞いているが、この会の運営と事務局の在り方は。
⑦地場産品振興プロジェクト事業を苦前のまちづくりにどう発展させていこうとしているのか。

答 弁

富士町長

このプロジェクトは、「デジタル田園都市国家構想交付金」に加え、普通交付税及び特別交付税で事業費全額が措置される。

今年度は、地場産品のPR素材の作成や新商品の開発・検討、イベントの開催等を計画、実施をしている。交流イベント、「ふるさと苦前で集まろう！」は、重要な機会となり、一定程度の評費用で実施した。

①一般参加者は26名、札幌市20名、江別市3名、恵庭市2名、千歳市1名。また年齢構成は80歳代8名、70歳代14名、50歳代以下4名。

②周知方法は、個人情報保護の観点もあり、今回は苦前中学校同窓生を中心に案内文の郵送のほか、フェイスブック等のSNS、

町ホームページ、町内回覧での地元への周知も含め、開催情報を発信した。

③学生ボランティアは、参加者の募集と同様に周知し、地元出身の学生3名にご協力をいただいた。

④立ち上がりのイベントとしては、意味があったものと捉えているが、地域・世代に偏りが生じていた点や、周知期間が短く、参加人数が少なかった点は今後の事業費全額が措置される。しかし、地元食材を使わない。しかし、地元食材を使わない。しかし、地元食材を使わない。

⑤今後は、古丹別地区で同窓会活動をなさっている方々や、若い世代にもご協力を仰ぎ、一層の参加拡大を図る。イベント企画の充実と地元生産者による調理の実演や食材の説明のオンラインイベントの開催を予定。

⑥現在、総合政策室と企画事業者が事務局と運営を担っているが、今後は、「札幌苦前会」などの設立や、プロジェクトに協力していただける有志に事務局運営の一部を担っていただくことを目指している。



一般質問

Q 森林環境譲与税の活用法は 公共施設のLED化更新は A 貴重な財源として有効活用 計画的な設備更新

自治体の森林整備などに活用する森林環境譲与税が令和6年度から納税者一人当たり年額千円を住民税に上乗せする形で徴収する新税が始まり、令和元年度より先行して譲与されている。当町では、令和4年度決算において1,695万円基金に積み立てている。活用せず基金に積むために税金が徴収される状態にあつてはならないと考え、次の4点について伺う。

- ① 国有林と私有林の面積は。
- ② 現在までの譲与税配分額と活用経過は。
- ③ 今後の譲与税額と活用法は。
- ④ 私有林の間伐・植林などの森林整備への経費補助は。

質問

早川議員



答弁

福士町長



令和6年度税制改正大綱によると、譲与税の配分について私有林人工林面積割を50%から55%へ、人口割を30%から25%へ、林業就業者数割を20%との方針が示され、森林面積の割合を高め山間部の自治体への配慮がなされたところである。

① 2020年の農林業センサスによると、本町の森林面積は3万6249ha、そのうち国有林が2万8684haで全体の79%、私有林が5720haで全体の16%である。

② 国からの譲与税額は、令和元年度369万6千円、令和2年度785万6千円、令和3年度756万2千円、令和4年度と令和5年度各943万円。

活用額は、令和3年度216万7千円、私有林等整備事業補助金、道産材を使ったミ

ーティングテーブル購入費、るもい森林認証協議会負担金など。令和4年度1048万5千円、私有林等整備事業補助金、造林機械導入事業補助金、民有林整備担い手対策事業補助金、るもい森林認証協議会負担金など。令和5年度は予算ベースで816万3千円、古丹別町民広場整備、民有林整備担い手対策事業補助金万円、植樹祭事業、るもい森林認証協議会負担金、私有林等整備事業補助金などである。

町民の皆様からいただく森林環境税を貴重な財源として適切に活用し、その取組を幅広く町民に周知させていく。

令和3年度から令和5年度の譲与額に対する活用率は55%で、管内平均43%を上回る活用率となっている。

③ 令和6年度以降は1157万4千円が毎年譲与される見込みとなっており、今後これまでもどおり私有林等整備事業補助金を優先し、森林組合における担い手対策や省力化に対する機械導入等の支援、植樹祭事業や木材利用の促進を図るための公共施設木質化事業等に活用していきたい。

④ 森林整備については、国庫補助金と私有林等整備事業補助金を交付している。私有林にお



質問

早川議員

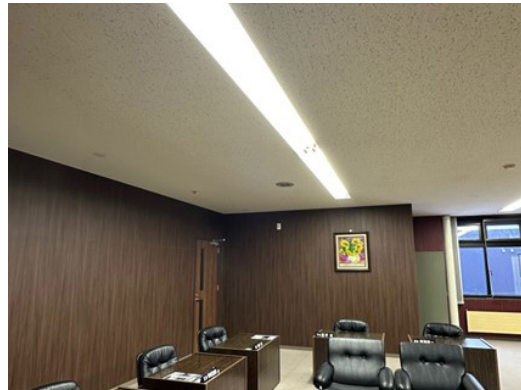
現在使用している電球型蛍光灯は2025年度末に、一般蛍光灯・水銀灯は2027年度末で製造・輸出入が禁止となり、全ての一般照明用蛍光灯の製造が終了する。今後は、発光ダイオード(LED)照明に切り替えなければならぬ。公共施設のLED化に向けた更新はどのように考えているか。

答弁

富士町長

苦前小学校、古丹別小学校、苦前地区コミュニティセンター、苦前温泉ふわっと、各地域の道路照明208灯中96灯がLED化済みであり、建て替えや改修に合わせLED化を順次進めている。今後、役場庁舎を除く公共施設の長寿命化事業である大規模改修において過疎債が使えるようになったほか、役場庁舎についても交付税措置のある脱炭素化推進事業債が用意されるなど整備環境が整ってきたため、政策全体の優先順位、予算配分、財源手当、公共施設の老朽状態などを十分勘案しながら、計画

的に設備更新を行って、環境負荷の低減と維持管理コストの縮減に努める。



一般蛍光灯からLEDの時代へ

委員会レポート

臨海地域 特別委員会

10月5日

- ふわっと及び周辺観光施設の利用状況(4月～9月)
- ・ふわっと利用者(対R3年比約28000人増)
- ・ふわっと使用料及び利用料金(対R3年比約4200万円増)
- ・オートキャンプ場利用者(対R4年比約3200人増)
- ふわっと等における利用者からの意見・要望
- ・ホワイトビーチは、シャワーのコイン売り場(販売機)がどこにあるかわかりづらい。
- ・オートキャンプ場のシャワーの水圧が弱い。
- ・未来港公園の管理人室や受付場所がわかりづらい。
- ・ふわっとは、脱衣所や浴場の清掃が行き届いてなく、部屋の中にホテルの案内が欲しい。
- ふわっと及び周辺観光施設の運営者・管理者からの意見・要望
- ・ホワイトビーチのシャワーコイン販売機が500円硬貨対応でないため、入れ替えが必要。
- ・オートキャンプ場のシャワー

の水圧が低く、改善が必要。

・未来港公園は、ペット同伴者利用者への対応に苦慮している。

・ふわっとは、野良猫が玄関自動ドアから施設内に侵入しており、野良猫対策が必要。

・バイク用屋根付き駐車スペースの確保を検討願いたい。

○ふわっと及び周辺観光施設におけるまちの情報提供の実態

【観光施設】

・町観光ポスター等の掲示と観光パンフレット、リーフレット及びふるさと納税リーフレットの加配

【ふわっと】

・観光施設と同じの他、道の駅情報提供システム端末での観光PR動画放映

総務産業 常任委員会

12月7日

●国民健康保険条例の一部改正

●地域公共交通対策
羽幌古丹別線(1日1往復)の廃止 令和6年3月末

●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

・エネルギー・食料品等・物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し支援する

事業費 1842万1千円

・水道基本料金免除事業

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担を軽減

令和6年1月～3月分の水道

使用料基本料金免除

免除総額 1120万円

●地域包括支援システムの更新

・現在使用しているシステムのサポートが終了するため新しいシステムに変更する

更新業務委託料 495万円

●地方公営企業法適用移行

・施設・設備の老朽化により莫大な更新投資による支出の増大、人口減少に伴う料金収入等の減少など、経営環境変化の対応が必要

施工期日 令和6年4月1日

●浄水場耐震化更新事業

・現在使用している浄水場が建設から38年経過しているため、設備更新し耐震化工事を施工
事業費 6億4900万円

●教育施設エアコン整備

・記録的猛暑が続き教室内で

度を越え、体調不良を訴える児童生徒が続出。小中学校にエアコンを整備する

工事費 6129万2千円

道内行政 視察研修

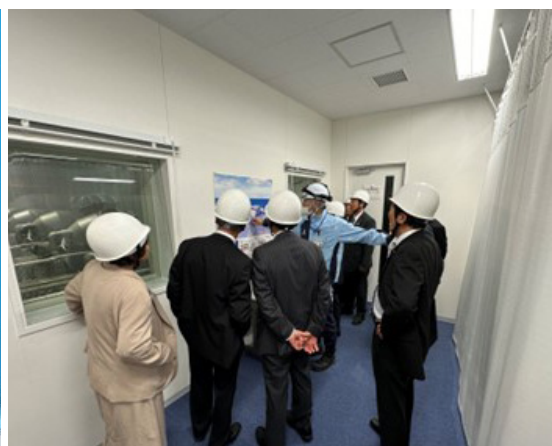
10月25日
～
10月26日

石狩市、南富良野町に行ってきました。視察先では担当職員より、以下の項目についての説明を受けました。

○北海道ガス株式会社石狩LNG基地

・現在、北ガスで行われている発電施設と今後の予定について
・地方自治体と連携協定している具体的な事業の事例
・天然ガス普及拡大に向けた具体的な目標とそれに向けた取り組み

・LNGローリー車の輸送コストとパイプラインの輸送コスト
・今後の道内各地への供給エリアの拡大に向けた計画



苫前町と包括連携協定を結んでいる北海道ガス



LNG基地内(LNG(液化天然ガス)を運ぶLNG船とLNGタンク)

○南富良野町役場

- ・南富良野町におけるゼロカーボンに向けた取り組み事例
- ・道の駅を中心とした災害に強いまちづくりについて
- ・北ガスが取得した森林面積と樹種や森林のCO2吸収量の積算方法について
- ・カプセルトイレについて



森林のCO₂吸収量をクレジット化を通し、地域活性化に取り組んでいる

議会の動静

令和5年

9月14日

議会報発行特別委員会

10月5日

臨海地域特別委員会

議会報発行特別委員会

11日～12日

上川・留萌管内女性議員研修会

(上川町、伊藤議員出席)

18日

25日～26日 議員道内行政視察

(石狩市、南富良野町)

11月18日

「ふるさと苦前で集まろう!」

(札幌市 阿部議長出席)

24日

28日～12月1日

令和5年度町村議会議長全国大会

及び議長会行政視察

(東京都、高知県 阿部議長出席)

7日

第6回町議会臨時会

総務産業常任委員会

13日

議会運営委員会

第4回町議会定例会

編集後記

令和6年の干支は辰年です。辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年と言われています。

戊辰戦争、日露戦争が辰年に起き、ロッキード事件やリクルート事件も辰年に発覚。戦後5回の辰年のうち総選挙が3回行われています。

昨年末に騒がれたパーティー券のキックバック問題。これが、今年の本政治にどのような変化が起きるのか。記録に残る辰年になるのでしょうか。

逆に青函トンネル・瀬戸大橋開業や、東京五輪・東海道新幹線開業などの国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴とされています。

まさに、今年は1日の能登半島地震、2日の日本航空と海保航空機の衝突事故、3日には北九州の繁華街大規模火災が発生し不安な幕明けとなりました。

私事になりますが、3回目の成人式となり、私自身に不安はありますが、持ち前のパワーで乗り切りたいと思います。

町民の皆様にとって、素晴らしいプロジェクトが始まる年になるように、私達議員も日々勉強して参りたいと思います。

文責 伊藤まち子

このたびの石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

被災地では、相次ぐ余震と寒さの中、不安が募る状況が続いておりますが、皆さまの安全と、一日も早い復興をお祈りしています。

北海道苫前町議会